

たった数時間が、
これからの
大きな時間になる。

大学生のころ、おじいちゃんがくれた手紙。
数えてみると三十六通。

返事を書いていなかった私はもう二度と送れない、と
後悔の気持ちでいっぱいになったけど、

手紙のこと、おじいちゃんのことを

みんなと話してるうちに、ちよつと救われたよ。

見送る私たちが「振り返るための

こころと時間のゆとり」を持つことができる。

そういうお葬式だったから、

ちゃんとお別れして

新しいスタートをきることができたんだと思う。

人生をつなぐ、ベルモニー。